

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-506168(P2000-506168A)

【公表日】平成12年5月23日(2000.5.23)

【出願番号】特願平9-531987

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 209/94

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/403

A 6 1 K 31/407

C 0 7 D 209/60

C 0 7 D 487/04

【F I】

C 0 7 D 209/94

A 6 1 K 31/00 6 3 5

A 6 1 K 31/40 6 0 5

A 6 1 K 31/40 6 0 9

C 0 7 D 209/60

C 0 7 D 487/04 1 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月8日(2004.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

16.3.-8

平成 年 月 日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿



1. 事件の表示 平成9年特許願第531987号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ザ スクリップス リサーチ インスティテュート

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 明細書及び請求の範囲

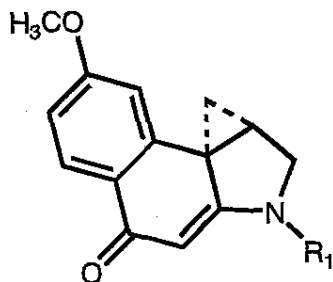
7. 補正の内容



1. 請求の範囲を別紙の通り補正する。
2. 明細書6頁10～11行の「2. R_8 がN置換ピロリジン環に関与し、更に R_7 もN置換ピロリジン環に関係する。」を、『2. R_8 がN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_7 もN置換ピロリジン環に関与する。』と補正する。

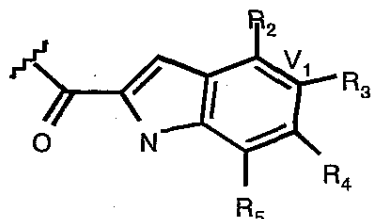
請求の範囲

1. 以下に示す構造：



で示される化合物。

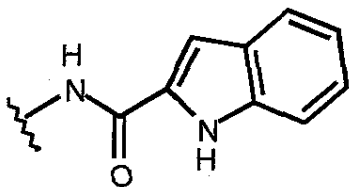
式中、 R_1 は、水素、tert-ブトキシカルボニル及び以下に示す構造：



で示される基からなる群より選ばれ、

R_2 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1～C6) 及び第一のN置換ピロリジン環からなる群より選ばれ、

R_3 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1～C6)、第一のN置換ピロリジン環及び以下に示す構造：



で示される基からなる群より選ばれ、

R_4 は、水素、ヒドロキシ及びO-アルキル (C1～C6) からなる群より選ばれ、

R_5 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル(C1~C6)からなる群より選ばれ、

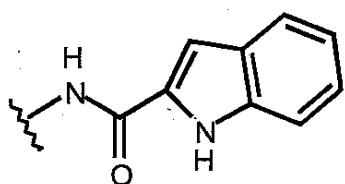
V_1 は、 R_2 と R_3 との間の第一のビニレン基を示し、但し、

1. R_2 が第一のN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_3 も第一のN置換ピロリジン環に関与する。

2. R_3 が第一のN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_2 も第一のN置換ピロリジン環に関与する。

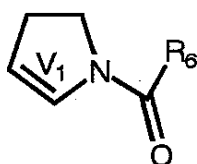
3. R_2 及び R_3 が第一のN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_4 及び R_5 は水素である。

4. R_2 が水素である場合、 R_4 及び R_5 は水素であり、 R_3 は以下に示す構造：



により示される基であり、

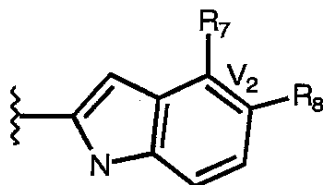
この場合、第一のN置換ピロリジン環は、 R_2 と R_3 との間の第一のビニレン基に融合しており、以下に示す構造：



で示され、

V_1 は、 R_2 と R_3 との間の第一のビニレン基を表し、

R_6 は、 $-NH_2$ 及び以下に示す構造：



により示される基からなる群より選ばれ、

R_7 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル(C1~C6)及び第二のN置換ピロリジン環からなる群より選ばれ、

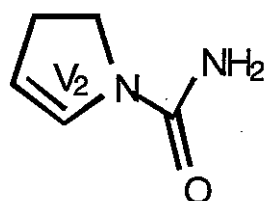
R_8 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル(C1~C6)及び第二のN置換ピロリジン環からなる群より選ばれ、

V_2 は、 R_7 と R_8 との間の第二のビニレン基を表し、但し、

1. R_7 がN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_8 もN置換ピロリジン環に関与する。

2. R_8 がN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_7 もN置換ピロリジン環に関与する。

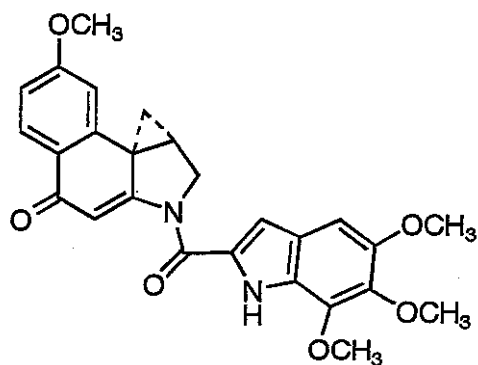
この場合、第二のN置換ピロリジン環は、 R_7 と R_8 との間の第二のビニレン基に融合しており、以下に示す構造：



で示され、

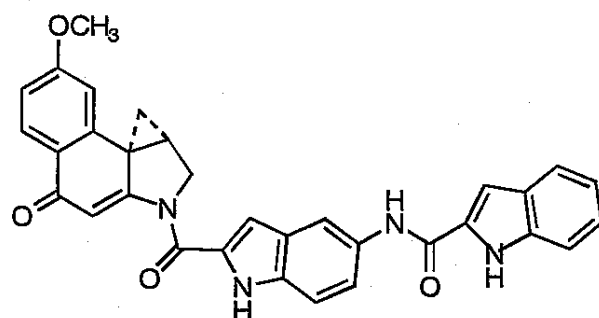
V_2 は、 R_7 と R_8 との間の第二のビニレン基を表す。

2. 式：



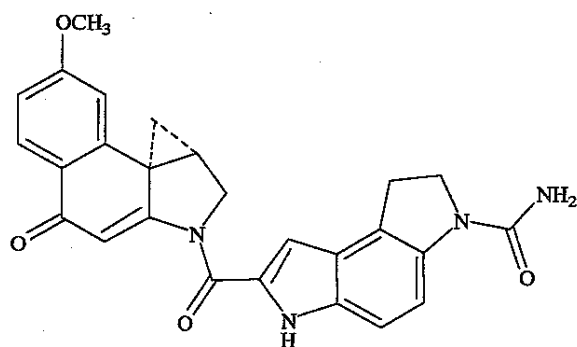
で示される請求の範囲第1項記載の化合物。

3. 式:



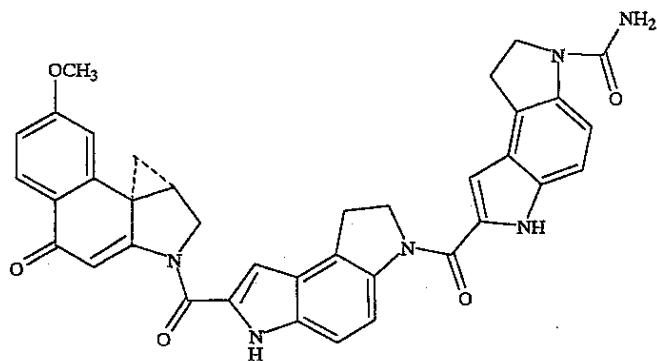
で示される請求の範囲第1項記載の化合物。

4. 式:



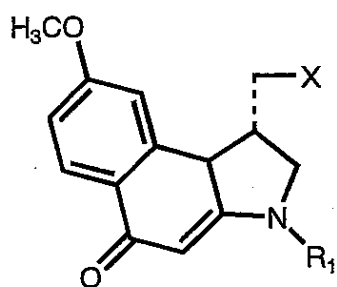
で示される請求の範囲第1項記載の化合物。

5. 式:



で示される請求の範囲第1項記載の化合物。

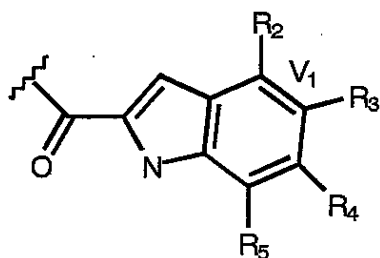
6. 以下に示す構造：



で示される化合物。

式中、Xは、塩素、臭素、ヨウ素及びOTOSからなる群より選ばれ、

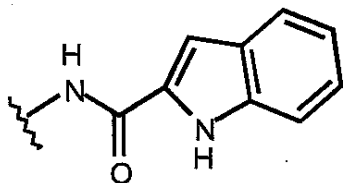
R₁は、水素、tert-ブトキシカルボニル及び以下に示す構造：



で示される基からなる群より選ばれ、

R₂は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1~C6) 及び第一のN置換ピロリジン環からなる群より選ばれ、

R_3 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1~C6)、第一のN置換ピロリジン環及び以下に示す構造：



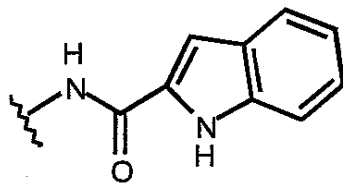
で示される基からなる群より選ばれ、

R_4 は、水素、ヒドロキシ及びO-アルキル (C1~C6) からなる群より選ばれ、

R_5 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1~C6) からなる群より選ばれ、

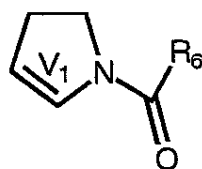
V_1 は、 R_2 と R_3 との間の第一のビニレン基を示し、但し、

1. R_2 が第一のN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_3 も第一のN置換ピロリジン環に関与する。
2. R_3 が第一のN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_2 も第一のN置換ピロリジン環に関与する。
3. R_2 及び R_3 が第一のN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_4 及び R_5 は水素である。
4. R_2 が水素である場合、 R_4 及び R_5 は水素であり、 R_3 は以下に示す構造：



により示される基である。

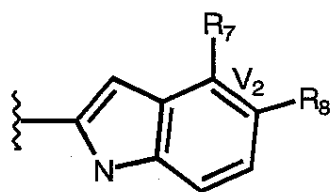
この場合、第一のN置換ピロリジン環は、 R_2 と R_3 との間の第一のビニレン基に融合しており、以下に示す構造：



で示され、

V_1 は、 R_2 と R_3 との間の第一のビニレン基を示し、

R_6 は、 $-NH_2$ 及び以下に示す構造：



により示される基により選ばれ、

R_7 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1～C6) 及び第二のN置換ピロリジン環からなる群より選ばれ、

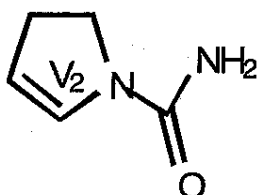
R_8 は、水素、ヒドロキシ、O-アルキル (C1～C6) 及び第二のN置換ピロリジン環からなる群より選ばれ、

V_2 は、 R_7 と R_8 との間の第二のビニレン基を表し、但し、

1. R_7 がN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_8 もN置換ピロリジン環に関与する。

2. R_8 がN置換ピロリジン環に関与する場合、 R_7 もN置換ピロリジン環に関与する。

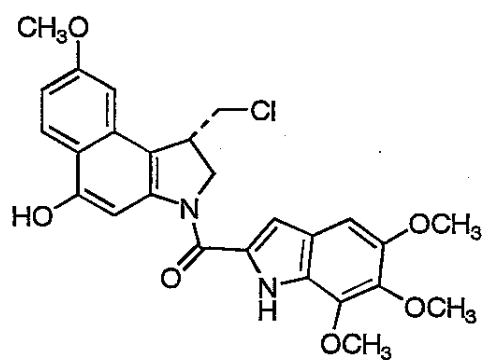
この場合、第二のN置換ピロリジン環は、 R_7 と R_8 との間の第二のビニレン基に融合しており、以下に示す構造：



で示され、

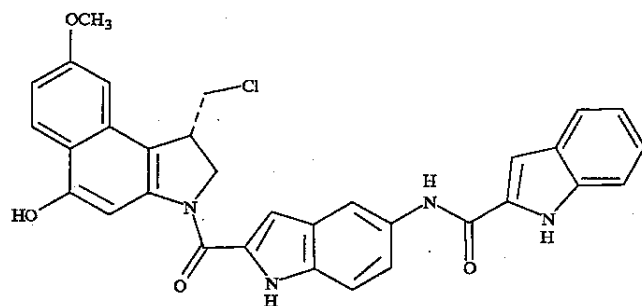
V_2 は、 R_7 と R_8 との間の第二のビニレン基を表す。

7. 式:



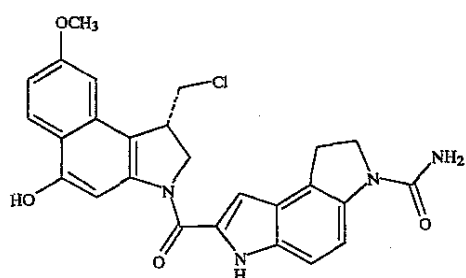
で示される請求の範囲第6項記載の化合物。

8. 式:



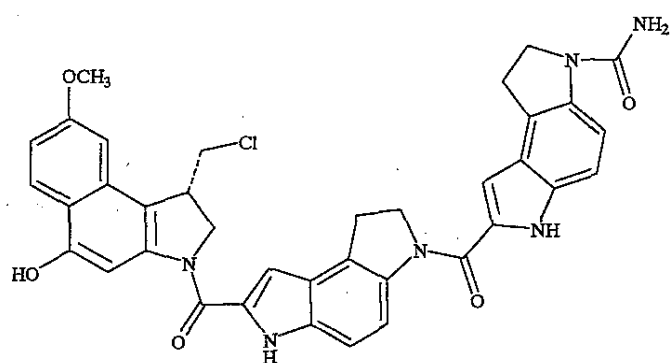
で示される請求の範囲第6項記載の化合物。

9. 式:



で示される請求の範囲第6項記載の化合物。

10. 式:



で示される請求の範囲第6項記載の化合物。

11. 請求の範囲第1項又は第6項に記載の化合物と、DNAとをアルキル化条件下で接触させる工程を使用することを特徴とするDNAアルキル化方法。